

ひろか

だより

第406号

令和8年5月18日

発行

弘果

弘果 弘前中央青果株式会社

津軽の「うまい」がここにある

第4期農業研修生募集 新規就農 PR 動画

農業研修生募集 地域の魅力PR編

若者・女性向け就農編 絶賛配信中!



津軽りんご市場止市



弘果りんご止市

令和7年産りんご止市

両市場ともに年産平均単価・取扱金額過去2番目

品名	等級	高値	中値	高値	
ふじ	上	令和7年産	16,200	12,960	10,800
		前年比	107.1%	100.0%	100.0%
	小	令和7年産	12,960	11,880	10,800
		前年比	100.0%	100.0%	100.0%

令和7年産の取扱数量は412万2581箱(前年比93.9%)、平均単価6515円(同95.5%)、取扱金額は268億5972万円(同89.7%)となりました。

品名	等級	高値	中値	高値	
ふじ	上	令和7年産	16,200	12,960	10,800
		前年比	100.0%	100.0%	100.0%
	小	令和7年産	12,960	11,880	10,800
		前年比	92.3%	100.0%	100.0%

令和7年産の取扱数量は216万8117箱(前年比100.4%)、平均単価は6354円(同93.9%)、取扱金額は137億7699万円(同94.3%)となりました。

弘果及び津軽りんご市場において4月28日、令和7年産りんごの止市が行われました。

7年産りんごは、大雪による枝折れ等の被害、干ばつの影響から全体的に小玉傾向、9月の暴風による落果や樹上被害、害虫(ナシマルカイガラムシ・カメムシ)による被害も多くなり、鳥熊による被害等が生産面に大きな影響を及ぼした結果、入荷量は前年を下回りました。販売面では、他県産りんごも高温による品質の低下や、着色不良の影響で出荷が遅れたことから、青森県産りんごへの期待が高まり、早生種から国内での引き合いが強

なりました。また、大玉や良品物の入荷が少なく全体的に品薄感があり、上果から下位等級品まで堅調に取引された結果、平均単価取扱金額は過去2番目となりました。

両市場を合わせた7年産りんご取扱数量は、629万698箱(前年比96%)、1箱あたりの平均単価は6460円(同95%)となりました。

両市場とも7年産取引の最後を飾る止市のセレモニーでは、挨拶、手締め、乾杯で景気付けを行い、競売がスタートしました。

式典では木村部長が「創立30周年という大きな節目を迎え、諸先輩方の功績に改めて深い感謝と敬意を表します。現在は、高齢化や担い手不足といった課題に直面し、部員数も減少しておりますが、昨年『婦人部』から『女性部』へ名称を改め、新たな一歩を踏み出しました。部員一同、今後も活発な活動を通じて、地域およびりんご産業の発展に貢献できるよう取り組んでまいります」とあいさつしました。その後、歴代部長へ感謝状が贈られたほか、長年にわたり役員を務め、部の発展に貢献した功労者へ功労賞が授与され、会場は華やかな祝賀ムードに包まれていました。

午前8時より行われた止市には7878箱(前年比77.1%)が入荷し、買参人約200人、生産者約350人が来場しました。

りんご1部工藤兼人部長は7年産の販売について「生産者は、天候などの影響で厳しい栽培環境の中、皆様の努力により食味良く仕上がった結果、高値基調を維持できました」と締めくくり、8年産に向けて「雪害の影響で生産量が減少することを懸念しています。高品質で食味の良りんご生産を維持することを期待しています」と話していました。

津軽りんご市場 午前10時より行われた止市には5195箱(前年比69.9%)が入荷し、買参人約70人、生産者約300人が来場しました。

齋藤彰寿取締役営業部長は7年産の販売について「天候などの要因で、様々な被害がありました。食味良く仕上がった結果、一年を通して堅調に取引されました」と締めくくり、8年産に向けて「温暖化の影響で栽培が難しくなっておりますが、高品質で食味の良りんご生産に励んでいただきたい」と話していました。

5月中旬より発送!

お手元に届き次第早急に開封し、同封書類のご確認をお願いいたします。

令和8年度(2026年度)りんごトレーサビリティのご案内

重要

農薬一覽(2026年度版) 令和8年度(2026年度)版

農薬の「有効成分の総回数」

農薬の「有効成分の総回数」

弘果TDS防除ガイドライン

Web申請のすすめ

令和8年7月23日(金)～10月31日(金)

TEL.0172-29-4184(代表)



表彰された歴代部長(左)と功労者の方々(右)

津軽りんご市場連絡協議会女性部(木村イク子部長)は創立30周年を記念して4月23日、板柳町多目的ホール「あぶる」において、会員および関係者約120名が出席する中、記念式典を開催しました。

当部は、津軽りんご市場連絡協議会設立の2年後、女性ならではの意見交換や親睦を深める場としての組織の必要性が高まったことを受け、平成8年5月に設立されました。「部員相互の連絡を密にし、教養を高め、農家経済の安定と所得の向上を図るとともに、地域との交流と親睦を深め、一層の創意工夫を図る」ことを目的に掲げ、現在は99名の部員が活動しています。

弘果地場やさい 連絡協議会

会長 相馬義彦 TMT (再任)

副会長 石田健作 清野 袋葉菜生産出荷組合(再任)、北島孝文 松倉菜出荷組合(再任)

弘果花き 連絡協議会

会長 高杉成春(再任)

副会長 中村正広(再任)

弘果りんご 連絡協議会

会長 林徳昭 弘下・下湯口りんご研究会(新任)

副会長 美濃又伸悟 葛原出荷組合(新任)、齊藤國弘 狼の森出荷組合(新任)、水木将夫 大鰐地区りんご連絡協議会(再任)、田中一幸 三好出荷組合(新任)、工藤浩文 マル弘十面沢出荷組合(再任)

安全安心委員長 小山内清悦 中別所出荷組合(新任)

弘果りんご 女性部

部長 成田勝子 乳井第一出荷組合(新任)

副部長 對馬智子 折笠マル一出荷組合(再任)、佐藤真弓 折笠マル一出荷組合(新任)

弘果りんご 青年部

部長 鳴海勝一 ヤマ独出荷組合(新任)

副部長 工藤公則 広船第一出荷組合(再任)、吉澤哲郎 吉川丸吉出荷組合(新任)

津軽りんご市場 連絡協議会

会長 小関清隆 マル閣出荷組合(再任)

副会長 植木正美 丸和 出荷組合(再任)、安田勉 ドリーム出荷組合(再任)、棟方孝則 葛蒲川出荷組合(再任)、木村由則 西友会(再任)

津軽りんご市場 女性部

部長 木村イク子 建石アップル会(再任)

副部長 会津夏子 丸隆アップル(再任)、増田百合美 笹館林檎支会(新任)

津軽りんご市場 青年部

部長 村山誠也 狐森かがやき出荷組合(再任)

副部長 木村邦裕 ころのとり出荷組合(再任)、出町文人 樹の会(再任)

青森オリジナルメロン 生産連絡協議会 青年部

部長 吉田匡克 だるま生産組合(再任)

副会長 五十嵐剛 だるま生産組合(再任)、三浦彰仁 丸新出荷組合(再任)

弘果グループ関係団体(10団体)では、3月下旬から4月下旬にかけて定時総会を開催しました。各団体の総会では、令和7年度の事業報告および収支決算、今年度の事業計画案・予算案について審議が行われ、いずれも可決されました。

尚、左記9団体では、任期満了に伴う役員改選も行われました。

生産者団体定時総会開催

「農」の「業」を継ぐ

期待の後継者

工藤

耕平さん (38)



家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【園地所在地】大鰐町駒の台
 【作付状況】りんご・4畝
 【就農年】2016年
 【きっかけ】りんご農家に生まれ育ちましたが、学生時代は家業に対して特別な思いはなく、高校卒業後は上京し、自動車関連メーカーに就職

しました。仕事は充実していましたが、将来を見つめ直す中で、故郷の青森で地域に根ざした生き方をしたいという思いが次第に強まりました。そこで退職を決意して帰郷し、前職の経験を生かして自動車関連分野で求職活動を行いました。日々の作業を重ねる中で、りんご栽培の奥深さややりがいに魅力を感じ「自分に向いている仕事ではないか」と考えるようになりました。その後は自情報収集を進め、農業を職業として本格的に志すようになり、家族と十分に話し合いを重ねた上で、農業で生計を立てていく決意を固め、就農しました。

【現在】りんご農家の仕事は多岐にわたる。栽培技術にとまらず、経営、土木、機械、さらには農業に関する知識など幅広い分野への理解が求められます。手伝いをしていた頃から、こうした分野を学び、経験を積み重ねていくことに大きなやりがいと面白さを感じてきました。就農してからは、仕事に対する責任の重さを強く実感するとともに、その責任が日々の緊張感と向上心につながっています。一つ一つの作業に全力で向き合い、

より良いりんご生産を目指して、意欲的に取り組んでいます。

【夢・展望】父の代から一貫して「品質重視」の姿勢で取り組んでいます。その実現のためには、天候や病害といった栽培環境、収入に直結する状況、さらには近年増加している鳥獣被害など、毎年大きく変化する状況への確に対応していくことが求められます。そのため、経験を積み重ねるとともに、情報や知識を常に更新しながら栽培に向き合っています。こうした「品質重視」の姿勢を貫き続けることが、りんご栽培に携わる喜びであり、同時にりんごの価値を高めていくことにつながるものと考えています。

【座右の銘】「特別より確実。積み重ねが信頼をつくる」前職での経験から、仕事で価値を生むのは一度の大きな成果ではなく、日々の業務を安定してやり遂げる力だと考えています。常に同じ品質で成果を出し続け、小さな確実を積み重ねることが評価となり、やがて大きな信頼につながります。そしてその信頼こそが次の機会と責任を生み出す原動力となります。この考えを軸に、仕事だけでなく日々の行動においても、確実な一歩を積み重ねていきたいです。

弘果スキーレーシングクラブ後援会では4月21日、同クラブ所属



シーズン成績報告会開催

の土屋正恵選手、横濱汐莉選手の活躍を讃える成績報告会を、弘前市のフオルトーナにおいて開催しました。

成績報告会には、弘果社員や後援会関係者ら約130名が出席し、冬季五輪への出場や、地元開催の「青の焔(きり)めき」あおもり国スポーをはじめとする各大会での優勝や上位入賞など、輝かしい実績が紹介されました。

今シーズンを振り返り、土屋選手は「初出場だった前回の冬季五輪とは異なり、今回はしっかりと走り切った実感があります。今季限りで競技を離れることも考えましたが、五輪をはじめとする各大会を通して、自分を誇らしく思い、



引退セレモニーでは土屋選手から横濱選手へ花束が贈られました

来シーズンに向けて、日本を代表する自覚を持って、国際大会をはじめ各大会で結果を残していきたいこと、今シーズンの総括と来シーズンでの飛躍を誓いました。

また、報告会では、今季限りで競技を引退し、退職する横濱選手の引退セレモニーが行われ、チームで苦楽を共にした土屋選手から横濱選手へ花束が贈られました。横濱選手は

「仕事と競技の両立が思うようにはいかず、つらいこともありましたが、多くの方々の支えがあり、競技を続けることができました。チームや仕事で経験してきたことは、私にとって大きな財産です」と感謝を伝えました。

同クラブには4月から、畔上凛花(あぜがみりんか)選手(北海道出身)、柏原明華(かしはらあいか)選手(広島県出身)が新たに加入しました。両選手ともに日本大学の先輩である土屋選手に憧れ、弘果へ入社しました。両選手は、日大在学中に全国大会を制しており、今後の活躍が期待されます。また、所属選手が3人となったことで、クラブとして3人一組の距離リレーへの出場が可能となり、2024年以降となる優勝を目指して、来シーズンに向けて開始します。



土屋正恵選手 横濱汐莉選手 畔上凛花選手 柏原明華選手

青森県産「スナツプエントウ」

弘果オリジナルブランド「つがりあん」スナツプエントウは、グリーンピートを改良した品種で、みずみずしく肉厚なさと、パリッとした食感、程よい歯ごたえが特徴の緑黄色野菜です。豆が成長しても硬くなりなく、さやごと食べられる点も魅力の一つです。

弘前市大川の佐藤昭弘さんは、約100坪のハウスでスナツプエントウを栽培しており、4月28日から収穫・出荷が始まりました。佐藤さんは栽培を始めたきっかけについて「花き栽培を中心に経営していましたが、経営の幅を広げたいと考えていたところ、弘果農産指導課から勧めを受け、4年前から栽培に取り組みしました。



栽培管理を徹底し高品質生産に努める佐藤さん

比較的手間がかからず、生育も早いため、現在の経営スタイルに合っていると感じています」と話していました。また、現在の生育状況について「多少のばらつきは見られるものの、概ね順調に生育しています。収穫・出荷は6月中旬頃まで続きますので、今後も栽培管理を徹底し、高品質生産に努めていきたい」と、今後の生産に意欲を見せていました。

尚、そ菜部ではスナツプエントウの栽培者を募集しています。詳細は、そ菜部または農産指導課までお問い合わせください。

サンキストオレンジ試食販売



当社は、サンキストオレンジの魅力を広げお客様に周知することを目的に4月24日青森県内の量販店5店舗において試食販売を実施しました。

サンキストオレンジは、強い甘味とジューシーさ、豊かな風味が特長です。一般的なオレンジと比較して酸味が少なく、口いっぱいに広がる甘味と風味の調和が高く評価されています。また、厳格な品質基準のもとで選別されており、糖度の



食味が好評な試食販売

野菜・果実トレーサビリティ受付中

消費者へ「安心・安全」を届けるために、皆様の加入をお願いいたします。

【期間】3月28日から随時受付

【場所】弘果トレサビセンター(第2卸売場内)

【時間】午前8時〜午後5時

【休業日】市場休市日(弘果カレンダー参照)

【登録費用】3000円(令和9年3月31日まで有効)

【対象品目】野菜と果実(りんご、天然の山菜を除く)

「つがりあん」で出荷する品目は必ず加入してください。

弘果オリジナルメニューも対象です。

【持参していただくもの】
 案内はがき、登録費用、出荷登録番号票
 ※初めて登録される方は印鑑もご持参下さい。
 詳しくは左記連絡先まで。

弘果総合研究開発 0172-29-4184
 そ菜部・果実部 0172-27-5511